

平成28年度 千葉県がん対策審議会各部会の審議結果概要(施策体系別一覧)

施策の体系			
大項目	中項目	小項目	
1 予防・早期発見	(1) 予防	①たばこ対策	予防・早期発見部会における審議結果概要 ○昨年度に引き続き、市町村及び集団検診実施機関の精度管理指標を検討するとともに、その結果を公表した（集団検診実施機関分は公表予定）。 ○「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」及び「事業評価のためのチェックリスト」の改正に対応するため、胃内視鏡検査の導入支援のための従事者研修や個別検診実施機関の精度管理調査の実施方針等について検討した。 ○来年度の計画改定に向けて、「千葉県乳がん検診ガイドライン」の見直しを行った。
		②生活習慣等の改善	
		③がん予防の知識の普及啓発	
	(2) 早期発見	①がん検診の受診率の向上	
②がん検診の精度管理の向上			
	(3) 個別のがんに対する特徴的な予防・早期発見		
	(4) がんに関する教育		がん教育部会における審議結果概要 ○学校によるがん教育に係る外部講師の活用促進のため、実施要領を策定した。 ○昨年度に引き続き、「がん教育に係る外部講師に関する調査」を実施し、外部講師の派遣が可能な機関一覧を作成し、学校に周知した。 ○文部科学省等で作成されたがん教育に関する教材について報告した。
2 医療	(1) がん医療	①がん診療連携拠点病院及び千葉県がん診療連携協力病院の整備と循環型地域医療連携システムの構築	○平成26年1月に示された「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」に基づき、千葉県がんセンターを都道府県がん診療連携拠点病院に推薦した。 ※国の「第12回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会」において、千葉県がんセンターの指定可否の判定は保留となった。今後、厚生労働大臣により最終的な判断が下される予定である。 ○千葉県がん診療連携協力病院については、これまで指定した16病院の指定更新を行うとともに、新たに1病院を4月1日から新規指定することとした。 ○千葉県がん診療連携協議会を中心に、新指針による診療体制整備や研修を実施している。
		②手術・放射線及び化学療法の設備・体制の充実とチーム医療の推進	
		③がん医療を担う人材育成	
		④口腔ケアに関する医科歯科連携の推進	
(2) 緩和ケアの推進	①がんと診断された時からの緩和ケアの推進	緩和ケア推進部会における審議結果概要 ○在宅緩和ケアの推進に向け、地域緩和ケア支援事業や緩和ケアセンターの役割や課題を検討した。また、「在宅緩和ケアに関する社会資源調査」等により医療圏ごとの看取り状況の把握を行い、次年度以降の取組や調査の充実等について検討した。 ○「緩和ケアの提供体制に関する調査」は、次年度以降、千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会に引き継ぐことを考慮し、連携を図りながら調査を実施し、結果や課題を共有した。 ○「介護職に対する終末期緩和ケアマニュアル」を作成し、マニュアルの配付方法や活用方法等についても検討した。	
	②終末期の緩和ケアの推進		
	(3) 小児がん等の対策		小児がん対策部会における審議結果概要 ○ちばがんナビを小児がん患者やその家族、経験者にとっても有用なツールとするため、掲載情報等について検討した。 ○ピアサポート相談事業の開始準備として本年度に開催予定の小児がんピアサポーター養成研修会について内容等の検討を行った。
3 相談・情報提供・患者の生活支援	(1) 相談支援・情報提供	①相談支援の充実	千葉県地域統括相談支援センター（千葉県がんセンター内に設置）で育成したピア・サポーターによる患者相談会の全県的な拡大や開催回数増加等、患者に対する支援の充実を図っている。
		②情報提供の充実	
	(2) 患者の生活支援	①食と栄養のトータルケア	情報提供部会における審議結果概要 ○ちばがんナビの掲載内容や今後の充実について検討した。 ○がんサポートブックの改訂版発行について検討した。 ○県内のがん診療連携拠点病院及び千葉県がん診療連携協力病院における入院、通院（在宅）の患者に対する取組状況の調査を実施し公表している。 就労支援部会における審議結果概要 ○職場へのがんの正しい知識の普及として、就労視点で情報をまとめた啓発資料の様式や内容について検討した。 ○他社での取組事例の共有として、平成26年度に行った実態調査を基に、がん罹患した従業員のいる事業所に対し、調査を行った。また、公表方法についての検討を行った。 ○がん患者の就労支援に関する情報提供書の周知方法について検討した。
		②がん患者の就労に関する問題への対応	
4 研究等	(1) 研究	①基礎研究・橋渡し研究の推進	千葉県がんセンターは、がん、特に難治性のがんの発生のメカニズムや転移の抑制等の基礎研究、ゲノム解析（遺伝子解析）の診断への応用、予防法の確立などの基礎研究から、がんの根本原因となる遺伝子を標的にした治療薬を開発する橋渡し研究（基礎的な研究成果に臨床応用する研究）を行い、実際に臨床応用に結び付ける千葉県特許による抗癌剤臨床開発を始めた。 国立がん研究センター東病院、千葉大学医学部附属病院、千葉県がんセンターが中心となり、他のがん診療連携拠点病院や産業界と連携しながら臨床試験や治験を受け入れ、多くの臨床研究が行われた。 千葉県がんセンターが文部科学省科研費新学術領域研究「生命科学系3分野（がん、ゲノム、脳）支援活動」等で取り組んでいる「がんにかかりやすい体質などに関する疫学研究」や「日本多施設共同コーホート研究（ジェイミック スタディ）千葉地区研究」を引き続き推進している。
		②臨床研究（臨床試験・治験等）の促進	
		③将来のがん予防のための疫学研究の推進	
	(2) がん登録の推進及び活用	がん登録部会における審議結果概要 ○がん登録等の推進に関する法律第24条第1項に基づく知事の権限及び事務の委任先について検討した。 千葉県がん診療連携協議会を中心として、院内がん登録の推進及び活用を行っている。	
		①地域がん登録	
		②院内がん登録	

千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

(1) 第1回：平成28年8月24日（水）午後6時30分～午後8時30分

【議題等】

- ① がん検診の精度管理事業評価（市町村）について
- ② がん検診の精度管理事業評価（検診実施機関）について
- ③ 胃内視鏡検診従事者研修会の実施について
- ④ その他

(2) 第2回：平成29年3月8日（水）午後6時30分～午後8時30分

【議題】

- ① がん検診の精度管理事業評価（市町村）について
- ② がん検診の精度管理事業評価（検診実施機関）について
- ③ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催結果について
- ④ 「千葉県乳がん検診実施のための技術的手引き（案）」について
- ⑤ その他

2 審議結果概要

- 「市町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果及び市町村別のプロセス指標値を検討し、がん検診の精度管理向上のため公表した。
- 集団検診実施機関に対して、がん検診実施機関精度管理調査を実施した。検討結果については、今後公表する予定である。
- 平成28年3月の「事業評価のためのチェックリスト」の改定に対応するため、地区医師会に対する「がん検診の精度管理推進のための関係機関調査」を実施し、個別検診の精度管理調査の方針を検討した。
- 平成28年2月の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正により、新たに胃がん検診の項目に位置付けられた胃内視鏡検査の導入むけて、従事者研修会の実施方針等を検討した。
- 「千葉県乳がん検診ガイドライン」の見直しを行い、「千葉県乳がん検診実施のための技術的手引き（案）」を作成した。

3 今後のスケジュール

年度 検討策	25	26		27 (中間評価)		28		29 (次期計画策定)	
	第2回目 (H26.1.28)	第1回目 (H27.1.21)	第2回目 (H27.3.10)	第1回目 (H27.8.5)	第2回目 (H28.2.10)	第1回目 (H28.8.24)	第2回目 (H29.3.8)	第1回目 (H29.6~7月 頃開催予定)	第2回
①予防・早期発見に関する戦略的な普及啓発の検討	目標値に関する各種事業評価								
	「保健事業関係補足調査結果」の一部をホームページに公表 *都道府県の役割(事業評価の手法)より								
②受診率の向上について対応策の検討	(目標値達成まで実施)								
	職域検診調査			モデル事業について、進捗状況等報告(ちば県民保健予防財団事業)		より有効な検診方法等について検討			
③精度管理の向上について対応策の検討	がん検診の精度管理事業評価(市町村)を実施【注1】								
	職域検診調査結果報告			検診機関調査		がん検診の精度管理事業評価(検診機関)を実施【注1】			
調査結果をホームページに公表【注2】									

(参考) 予防・早期発見部会委員

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	藤澤 武彦	ちば県民保健予防財団理事長	部会長
2	専門委員	羽田 明	千葉大学大学院医学研究院教授	
3	専門委員	海村 孝子	千葉県医師会理事	
4	専門委員	阿左見 葉子	千葉県歯科医師会地域保健委員会委員長	
5	専門委員	林 學	ちば県民保健予防財団名誉総合健診センター長	
6	専門委員	河西 十九三	ちば県民保健予防財団常務理事	
7	専門委員	橋本 秀行	ちば県民保健予防財団診療部長	
8	専門委員	山口 和也	ちば県民保健予防財団診療科部長	
9	専門委員	中山 茂	千葉県臨床検査技師会長	
10	専門委員	千葉 政昭	千葉県診療放射線技師会長	
11	専門委員	多田 雄一郎	袖ヶ浦市市民健康部健康推進課長	
12	専門委員	川島 千秋	長生村保健センター健康推進課副主幹	
13	専門委員	白田 千佳子	全国健康保険協会千葉支部保健師	

千葉県がん対策審議会がん教育部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

(1) 平成28年12月19日(月) 午後6時30分～午後7時40分

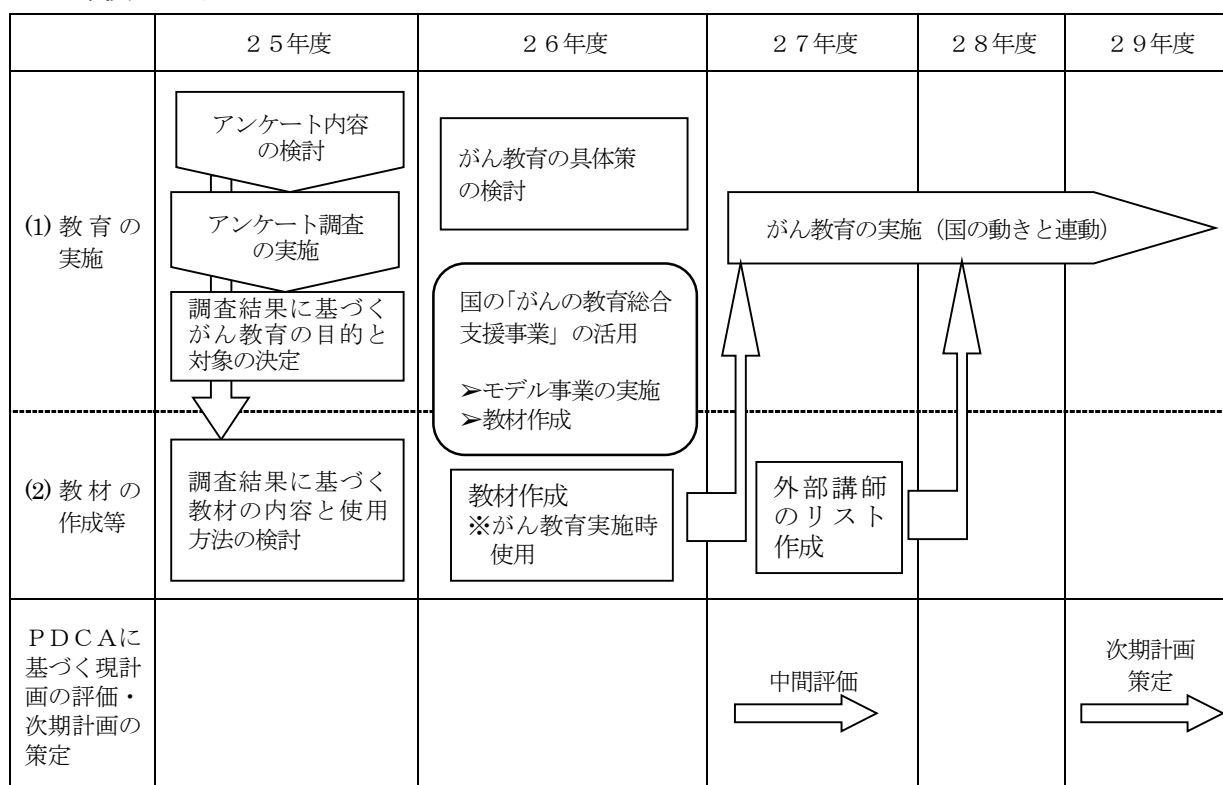
【議題】

- ①部会長の選出について
- ②がん教育に係る外部講師の活用について
- ③国の動き、取組状況について(報告)
- ④その他

2 審議結果概要

- 学校によるがん教育に係る外部講師の活用促進のため、実施要領を策定した。
- 昨年度に引き続き、「がん教育に係る外部講師に関する調査」を実施し、外部講師の派遣が可能な機関一覧を作成し、学校に周知した。
- 文部科学省等で作成されたがん教育に関する教材について報告した。

3 今後のスケジュール



(参考) がん教育部会委員

No.	審議会委員 専門委員	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	山本 修一	千葉大学医学部附属病院 病院長	部会長
2	審議会委員	金井 弘子	千葉県がん患者団体連絡協議会 会長	
3	専門委員	森本 浩司	千葉県医師会 副会長	
4	専門委員	加藤 珠以	千葉県 PTA 連絡協議会 副会長	
5	専門委員	堀米 宏	千葉県中学校長会 調査研究部長	
6	専門委員	小坂 祐一	千葉県保健主事会 会長	
7	専門委員	中西 規	千葉県養護教諭会 副会長	
8	専門委員	竹田 和枝	千葉県養護教諭会 事務局	

千葉県がん対策審議会緩和ケア推進部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

(1) 第1回：平成28年8月30日（火）午後6時30分～午後9時

【議題】

① 在宅緩和ケアの推進に向けた取組について

ア 地域緩和ケア支援事業について

イ 緩和ケアセンターについて

【報告】

① 平成28年度緩和ケアの提供体制に関する調査について

② 介護職に対する終末期緩和ケアマニュアル（仮称）の作成について

(2) 第2回：平成29年2月27日（月）午後6時30分～午後9時5分

【議題】

① 在宅緩和ケアの推進に向けた取組について

ア 介護職に対する終末期緩和ケアマニュアル（仮称）及び今後の活用方法について

イ 在宅緩和ケアに関する社会資源調査結果について

ウ 地域緩和ケアの提供体制の構築に向けて

② 平成28年度緩和ケアの提供体制に関する調査結果について

2 審議結果概要

○在宅緩和ケアの推進に向けた事業の変遷を整理し、地域緩和ケア支援事業や緩和ケアセンターの役割について検討した。

○在宅緩和ケアに関する社会資源調査結果及び医療圏別の看取り場所の現状を報告し、在宅緩和ケアの推進に向けた期待が高まっている「在宅緩和ケア充実診療所」を対象とした調査の実施について検討した。

○「介護職に対する終末期緩和ケアマニュアル」については、作成検討会にて検討し、平成29年3月末に完成予定であり、配付方法や今後の活用方法を具体的に検討した。

○緩和ケアの提供体制に関する調査については、次年度以降、千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会に引き継ぐことを考慮し、連携を図りながら調査を実施し、結果や課題を共有した。

3 今後のスケジュール

審議事項	H25	H26	H27	H28	H29
(1) がんと診断された時からの緩和ケア					
①緩和ケア提供体制整備について ・看護師チームによる緩和ケアの相談・ 情報提供ができる体制の構築		緩和ケアセンター設置 の実際と課題を検討し、 具体策の検討 ⇒調査実施	経年的に 調査実施	→	
・拠点病院を中心とする緩和ケア提供 体制整備と質の向上				→	
②緩和ケアを担う人材育成について ・緩和ケア研修会の充実について		国による 指針改正	経過措置 県の実施 要領改正	新指針に よる実施	→
(2) 終末期の緩和ケア					
①緩和ケア提供体制整備について ・実態調査	実態調査 実施 ↓ 目標値設定	経年的に 調査実施	→		
・地域の特性に応じた在宅緩和ケア提供 のネットワークづくり	モデル事業 実施 (在宅緩和 ケア協力推 進研修事 業)	→	評価を含む 事業報告	→	
②緩和ケアを担う人材育成について ・在宅緩和ケア研修プログラム策定に ついて	モデル事 業実施 (在宅がん 緩和ケアを 担う医師及 び看護師の 育成事業)	モデル事業 の進捗を確 認しつつ、 具体策の検 討	→	具体策に 基づき実施	→
(3) マニュアル作成について					
・介護職に対する終末期緩和ケアマニユ アル作成について ・在宅緩和ケアプログラムについて		内容、使用 方法検討	→		作成 配布・活用
PDCAに基づく現計画の評価・次期計画の策定			→ 中間評価	→ 次期計画 策定	

(参考) 緩和ケア推進部会委員

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	大岩 孝司	さくさべ坂通り診療所 院長	部会長
2	専門委員	土橋 正彦	千葉県医師会 副会長	
3	専門委員	栗原 正彦	千葉県歯科医師会 理事	
4	専門委員	眞鍋 知史	千葉県薬剤師会 副会長	
5	専門委員	野口 涉子	千葉県介護福祉士会 会長	
6	専門委員	権平 久美子	千葉県看護協会 ちば訪問看護ステーション所長	
7	専門委員	坂下 美彦	千葉県がんセンター 緩和医療科部長	
8	専門委員	瀧口 裕一	千葉大学医学部附属病院 臨床腫瘍部長	
9	専門委員	小川 朝生	国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長	
10	専門委員	篠原 靖志	さんむ医療センター 院長	
11	専門委員	木村 由美子	さくさべ坂通り診療所 訪問看護師	
12	専門委員	宮坂 いち子	NPO 法人ホスピスケアを広める会 理事長	

千葉県がん対策審議会小児がん対策部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

(1) 第1回：平成28年9月14日（水）午後6時30分～午後8時15分

【議題】

- ①小児がん支援事業について
- ②小児がん診療に関する医療機関実態調査について

【報告】

- ①関東甲信越地域小児がん医療提供体制協議会報告

(2) 第2回：平成29年2月6日（月）午後6時30分～午後8時00分

【議題】

- ①小児がんに関する情報提供について
- ②小児がん支援事業について

2 審議結果概要

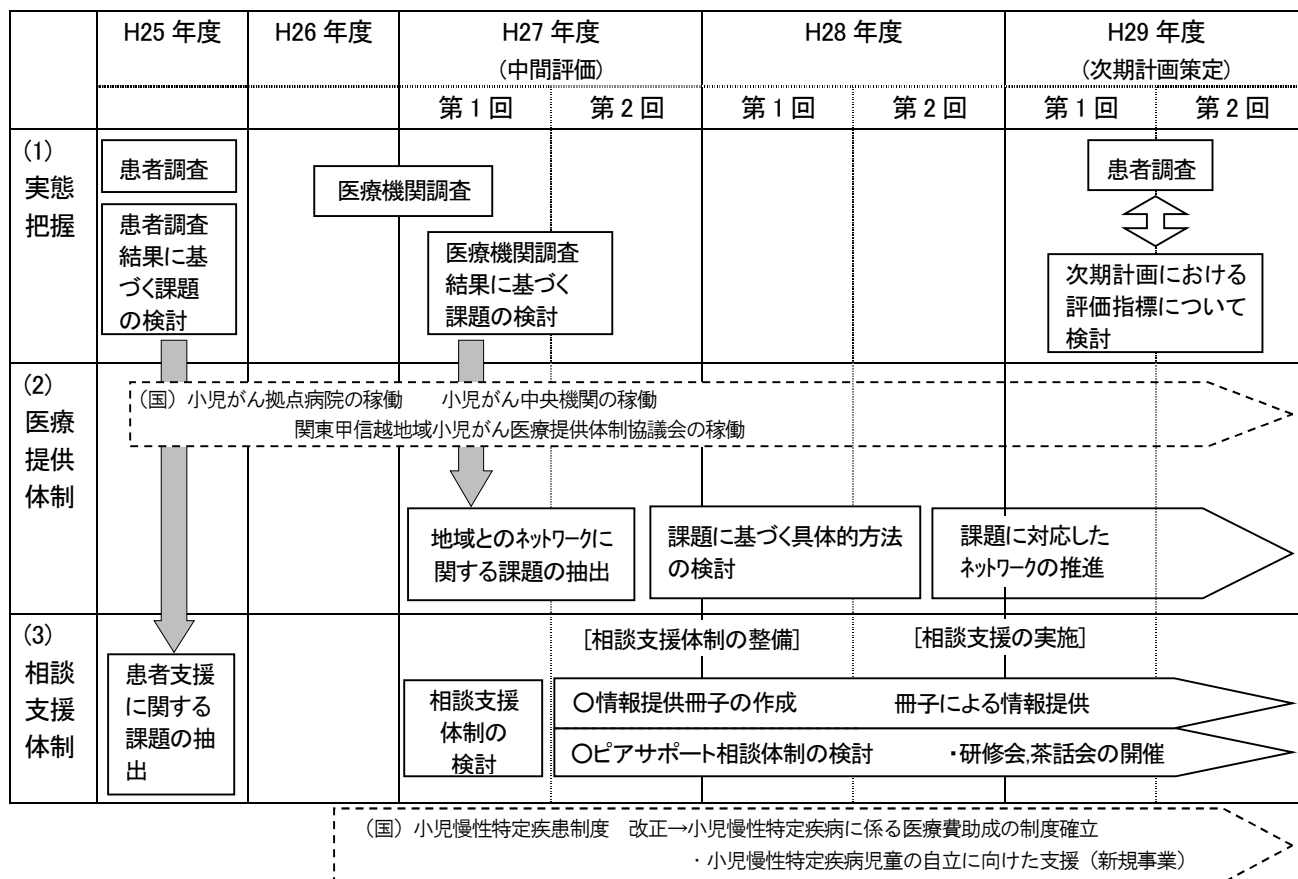
○千葉県がん情報「ちばがんナビ」を小児がん患者やその家族、経験者にとっても有用な情報ツールとするため、掲載情報等について検討した。第1段階として、「国立がん研究センター小児がん情報サービスの Q&A」や「東京都小児がん診療連携協議会発行の小児がん診断ハンドブック紹介ページ」へリンクを張ること、第2段階として、千葉県独自情報の提供ページを作成する等、掲載内容の充実を図っていく方針となった。

○小児がん患者とその家族及び小児がん経験者が可能な限り慣れ親しんだ地域で治療や支援、長期フォローアップが受けられる環境の整備を検討していくための基礎資料として、また、患者・家族等、県民へ小児がんに関する医療情報を継続的に提供するため「小児がん診療に関する医療機関実態調査」の定期的な実施について検討を行った。

○小児がん患者とその家族が安心して、適切な医療や支援を受けられる環境整備を目的とし作成した小児がん患者とその家族向け情報提供冊子「安心して闘病生活を送るために」の配布及び活用方法についての検討を行った。

○子どもと共に闘病生活を経験した相談員による患者及び家族向け相談（ピアサポート相談）事業の開始準備として、本年度に開催する平成28年度小児がんピアサポーター養成研修会の内容等について検討した。（養成研修会は平成29年3月13日、23日の2日間コースで開催）

3 今後のスケジュール



(参考) 小児がん対策部会委員

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	星岡 明	千葉県こども病院病院長	部会長
2	専門委員	西牟田 敏之	千葉県医師会理事	
3	専門委員	角南 勝介	成田赤十字病院副院長	
4	専門委員	角田 治美	千葉県こども病院 血液・腫瘍科部長	
5	専門委員	浅野 健	日本医科大学千葉北総病院 小児科部長	
6	専門委員	中田 光政	千葉大学大学院医学研究院 小児外科学	
7	専門委員	原木 真名	まなこどもクリニック院長	
8	専門委員	小川 純子	淑徳大学看護栄養学部准教授	
9	専門委員	井上 富美子	認定 NPO 法人ミルフィーユ 小児がんフロンティアーズ理事長	

千葉県がん対策審議会情報提供部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

平成28年12月20日（火）午後6時30分～午後8時

【議題】

- ① 千葉県がん情報「ちばがんナビ」
 - ・開設後の状況
 - ・Q&Aの掲載
- ② 千葉県がんサポートブック
- ③ その他
 - ・今後のスケジュール
 - ・就労支援部会からの報告

2 審議結果概要

- 平成26年5月1日に開設したがん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の開設後の状況について報告し、Q&Aの掲載について掲載を行った。
- 地域の療養情報「千葉県がんサポートブック」の改訂版発行（平成30年度）に向けて、掲載内容についての検討を行った。
- 今後のスケジュール、及び就労支援部会の取り込み状況について報告を行った。

3 今後のスケジュール

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県による情報提供のあり方の検討	→				
がん情報を取りまとめたホームページの検討・開設	→				
ホームページの見直し		→ 随時 見直し			
「サポートブック」の改訂		→		→	
PDCAに基づく現計画の評価・次期計画策定			→ 中間評価		→ 次期計画 策定

(参考) 情報提供部会委員

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	金井 弘子	千葉県がん患者連絡協議会会長	部会長
2	専門委員	野田 真由美	NPO 法人支えあう会「α」副理事長	
3	専門委員	渡邊 清高	帝京大学医学部附属病院准教授	
4	専門委員	渡辺 鉦	千葉日報社販売局読者サービス室長	
5	専門委員	宍倉 朋胤	千葉県医師会理事	
6	専門委員	浜野 公明	千葉県がんセンター診療部長	
7	専門委員	柳堀 朗子	ちば県民保健予防財団 調査研究部長	
8	専門委員	坂本 はと恵	国立がん研究センター東病院 サポーターケアセンター/ がん相談支援センター がん相談統括専門職	
9	専門委員	中村 晃子	千葉県がんセンター がん相談支援センター 主任看護師	
10	専門委員	安原 千晶	東京歯科大学市川総合病院 がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー	

千葉県がん対策審議会就労支援部会審議結果概要

1 開催日時及び議題

(1) 第1回：平成28年9月13日（火）午後2時～午後4時

【議題】

- ①職場へのがんの正しい知識の普及について
- ②がん患者の就労支援に関する情報提供書等の配布・周知について
- ③他社での取組事例の共有について

(2) 第2回：平成29年3月7日（火）午後2時～午後4時

【議題】

- ①職場へのがんの正しい知識の普及について
- ②他社での取組事例の共有について

2 審議結果概要

- 職場へのがんの正しい知識の普及として、就労視点で情報をまとめた啓発資料の様式や内容について検討した。
- 他社での取組事例の共有として、平成26年度に行った実態調査を基にし、がん罹患した従業員がいる事業所に対し、アンケート調査を行った。また、公表方法についての検討を行った。
- がん患者の就労支援に関する情報提供書の周知方法について検討した。

3 今後のスケジュール

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
(1) 実態調査	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">実態調査 内容の検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パイロット 調査の実施</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">実態調査 の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 40px;">調査結果に基づ く課題の検討</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">課題に基づく具体策の検討・実施</div>		
(2) 職場への がんの正しい 知識の普及			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">職場への普及 啓発の検討・ 提言</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">職場への普及 啓発活動</div>	
(3) 事業者・がん 患者やその 家族・経験者 に対する相談支援 体制のあり方			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相談支援体制 の検討・提言</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">相談支援の実施</div>	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">がん患者の就労に関する情報提供書</div>				
PDCA に基づく 現計画の評価・ 次期計画の策定			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中間評価</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次期計 画策定</div>

(参考) 就労支援部会委員

NO	審議会委員 専門委員の別	委員氏名	委員役職名	備考
1	審議会委員	大津 敦	国立がん研究センター東病院 院長	部会長
2	専門委員	松岡 かおり	千葉県医師会理事	
3	専門委員	能川 浩二	労働者健康安全機構 千葉産業保健総合支援センター 所長	
4	専門委員	齋藤 光子	厚生労働省千葉労働局職業安定部 職業安定課長	
5	専門委員	藤田 敦子	特定非営利活動法人千葉・在宅ケア市民 ネットワークピュア 代表	
6	専門委員	坂本 はと恵	国立がん研究センター東病院 サポートイブ ケアセンター／がん相談支援センター がん相談統括専門職	
7	専門委員	杉坂 恵美子	杉坂社会保険労務士事務所 所長	
8	専門委員	星 敦子	星商株式会社 代表取締役社長	
9	専門委員	山岡 鉄也	日経BP社クライアントマーケティング局 プロデューサー	

